

衆議院で委員会デビュー 女性の100年健康ビジョンの実現に向けて



衆議院議員

たかがい恵美子

参院選を前に国会論戦も白熱の度を増しています。夏には確かな成果を勝ち取るべく、がんばりましょう！

令和女性の100年健康ビジョン

昨年10月末の総選挙後、高市政調会長のご指示により、自民党人生100年時代戦略本部のもと「女性の生涯の健康

に関する小委員会」が設置され、他に先駆けて議論を進めてきました。

このテーマを主体とする政策を明確に打ち出すため、年末年始も厭わず多くの先生方にご参集たまわり、全国の有識者から大変熱心なご助言を頂戴いたしました。お陰様で何とか3月末に政策提言をとりまとめ、公表することができました。ご尽力くださいました皆様に、改めて感謝を申しあげます。

これからの国際協力

今後長期に渡って働き盛り世代が減少していく日本では、国際協力においても、これまでの延長線上にとどまることなく、新たな時代へ一歩踏み出す戦略が求められています。

なかでも国際保健と資源エネルギーの安定供給は重要な政策課題です。へ



女性政策について意見交換会

ルシーな食文化や衛生観念など優れたジャパン・スタイルを世界へ発信することも考えています。

我が国の食料自給率は37%と低迷していますが、例えば米粉を使った栄養改善を打ち出すなど、十分な可能性を秘めています。

様々な国際情勢の変化を踏まえつつ、実効性の高い合理的な政策が推進されるよう、副会長として責任をもって、意見集約に努めたいと思います。



第78代衆議院議長就任 細田博之記念講演会

人間性を破壊する戦争犯罪に、ノー

日本政府は、ロシア軍によるウクライナ侵略を非難し、国際社会の秩序維持とウクライナへの人道支援を続けています。

2014年3月18日にロシアがクリミア自治共和国の独立を承認し条約への署名がなされた際、私は翌19日の参議院予算委員会安倍総理(当時)に

「女性の人生100年健康ビジョン」を公表



高市早苗政調会長に提出

政府の受け止めと対応方針を問いました。「ウクライナの統一性、主権及び領土の一体性を侵害するものであり、我が国はこれを非難する、力を背景とする現状変更の試みは決して看過できません」との答弁でした。

あれから8年もの間、ウクライナが大国の脅威にさらされていたことを思うと背筋が凍ります。

日本はこれまでに、新たな条約締結に向けた交渉開始を凍結するなど、国際間の協調に基づく働きかけ以外にも、独自で事態の平和的収拾を進めてきました。

一刻も早くロシア軍が残虐な戦争犯

罪を止めるよう、これからも働きかけを続けます。

戦地のゼレンスキー大統領がオンライン演説で繰り返し訴えた「復興に力を貸してほしい」という言葉が、ひときわ強く印象に残っています。

人々が少しでも早く故郷へ戻り、愛する人と平穏な日常を送ることができますよう、心から願っています。

↓4月7日、国連総会で人権理事事国資格停止決議が採択され、ロシア追放

衆議院での委員会デビュー

令和四年度予算案の集中審議では、自民党を代表する質問機会をいただき

国会議員活動レポート



衆議院予算委員会にて質疑



性的マイノリティに関する特命委員会にて議論



宮城復興フェア(衆議院第二議員会館)

感激しました。また、厚生労働委員会においても、初回の基本質疑に立たせていただきました。参議院とは勝手が違うので、何をすることもまごついてばかりですが、一つひとつの経験が成長の糧になると信じ、地道に精進する所存です。

テレビ入り質疑では短時間ながら総理、財務、総務、厚労、経産、防衛、文科、内閣と関係各省庁にわたる議論ができ、学び多く密度の濃いデビューとなりました。

令和世代のウェルビーライフ

この春は例年より、早期退職や転職

を決めたという方が多かったですと感じます。恒例の看護系大学院生との政策交流会や現役高校生・大学生との意見交換においても、将来を展望しつつ現実的に進路を吟味するムードが強く感じられます。

あなたの好きなことは何か

人生100年が視野に入ってくると、確かにこれまでの人生設計だけでは尺に合わないことが増えてきます。これからは受け身ではなく主体的に、自分らしいウェルビーイングな暮らしを実現する時代なのかもしれません。

性差及び性別の多様性に関する政策については、週に1〜2回のハイペースで議論を重ねてきました。大変幅が広くそれぞれ奥深いテーマでもあり、容易く結論を導くのは難しいと思います。であればこそ、初めから間口を狭めるのではなく、時代の変遷も含め腰を据えた取り組みが必要です。

ありがたいことに、毎回ご参加くださる先生方の数が増え、発言される内容にも一層の広がりが出てきています。仮に制度整備の不足等によって日常生活上の不利益や過度な負荷が生じ、困窮状態となる例があるのなら、何とかその問題を解決しようという知恵を出し合う、そんな雰囲気が出ていることをとても頼もしく感じつつ、取りまともに向けて、真剣に参加しています。